
倚松庵 納涼夕涼み

小説「細雪」の舞台となった、神戸ゆかりの文豪・谷崎潤一郎の旧邸「倚松庵」において「倚松庵(いしょうあん)納涼夕涼み」を通常の開館時間を延長し、2日間限定で開催します。蝉しぐれに包まれる庭園、柔らかな間接照明が灯る応接間などで、夏の夕暮れのひとつを過ごしていただけます。昭和を感じる雰囲気あるロケーションでの浴衣撮影など、あなただけの楽しみ方や魅力を探しにお越しください。

1. 開催日時・場所等

開催日時	7月19日(土曜)・20日(日曜) 午後4時～午後8時
開催場所	倚松庵(神戸市東灘区住吉東町1丁目6-50)
参加費	無料
申し込み	不要
問い合わせ	神戸市お問い合わせセンター(電話番号 0570-083-330・078-333-3330) 年中無休・午前8時～午後9時
その他	来場された方には倚松庵オリジナルうちわをプレゼントします。 (無くなり次第配布終了)

2. 倚松庵について

倚松庵は、文豪・谷崎潤一郎が1936年から1943年まで居住し、松子夫人やその妹たちをモデルとした小説「細雪」の舞台となりました。

「細雪」の面影が残る庵内には著書や参考文献等を集めた「谷崎文庫」を併設しており、文学の庵(いおり)として、市民や観光客に谷崎文学の世界に親しんでいただくことを目的に開館しています。



開館日	土曜・日曜・祝日(年末年始除く)
開館時間	午前10時～午後4時(通常時)
入館料	無料

